

富士川町まち・ひと・しごと 創生推進事業



事業年度：令和3年度～令和7年度

暮らしと自然が輝く 交流のまち ～ “生涯” 快適に暮らせるまちを目指して～

富士川町では、「第2次総合戦略」に掲げる4つの基本目標の達成に向けて、①富士川町における安定した雇用を創出する事業、②富士川町への新しいひとの流れをつくる事業、③富士川町で若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える事業、④富士川町の時代にあった地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業の推進に取り組んでいます。

中でも、コミュニティビジネスモデル事業起業支援事業や6次産業化事業、定住奨励補助事業、友好都市事業、地域医療と連携した子育て事業、不妊治療支援事業、消防機材等整備事業などに取り組んでおり、寄付を募集しています。

くわがまちについて

富士川町は、甲府盆地の南西部に位置し、一級河川富士川に沿って集落が発達してきました。

平成22年（2010年）3月8日に、増穂町と鵜沢町が合併し、一級河川富士川の名を冠した富士川町として歩み始めました。

富士川町は、静岡と甲府、長野方面を結ぶ交通の要衝にあり、中部横断自動車道の双葉ジャンクションから増穂インターチェンジまでの開通により首都圏からの往来が容易になりました。また、中部横断自動車道も令和3年8月29日に新東名高速道路まで全線開通され、交通や物流に大きな変化をもたらすことが見込まれます。

また、リニア中央新幹線が本町を縦断するルートが決定し、甲府市大津町に山梨県駅（仮称）が建設されることから、山梨県駅（仮称）と本町のアクセス網の確立により、さらなる人の往来が期待されます。しかし、一方では加速する人口減少によって、消費市場の規模縮小だけではなく、人材不足、景気低迷など住民の経済力の低下がもたされることが懸念されます。また、少子高齢化では、福祉制度や医療体制に対する不安、経済構造の変化などが懸念されます。

このような、好機と危機に真正面から立ち向かい、人口ビジョンの実現に向けて持続的で経済活力のあるまちづくりに取り組むことが必要になります。



上空からの富士川町

< 4つの基本目標 >

富士川町における安定した雇用を創出する

富士川町への新しいひとの流れをつくる

富士川町で若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える

時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

富士川町観光物産協会
Tel:0556-22-7202

Mail:furusato@town.fujikawa.lg.jp